

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年
市町村名 (市町村コード)	錦江町 (46490)
地域名 (地域内農業集落名)	神川(鳥浜・神川城)地区 (鳥浜・神川城)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	85 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	85 ha
② 田の面積	13 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	72 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	17 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	17 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地域内の農地については、分散することなくまとまった農地である。地域内耕作者の認定農業者は15経営体、認定新規就農者は1経営体、基本構想水準到達者は4経営体である。認定農業者(法人、個人)の経営面積が広いことがこの地域の特徴であり、平均年齢も62歳と比較的若い区域である。今後は、地域内の田においては継続的に多面的機能支払事業等を活用しながら、良質な米や露地野菜の生産を進めていき、畑においては地域ぐるみで農地利用の最適化や担い手の育成・確保等を推進していくことが課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域内の田は、海岸線で温暖な気候に恵まれ無霜地帯を有していることから、主に水稻・パレイショ・レタス・WCS・ブロッコリーが作付けされている。畑においては、茶の法人が3経営体、大規模な個人経営が1経営体あり、茶畑だけで地域全体の畑面積の約4割を占めている。そのほか、ブロッコリー・レタス・飼料作物が多くを占めて栽培されている。今後は、現在の現状を維持しながら、担い手(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者)への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再配分を進めることが出来るよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸し付けを進めながら、担い手(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者)の農作業に支障がない範囲で農地の集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	61	%	将来の目標とする集積率 80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農作業の効率化アップのため、耕作農地の分散化の解消を図る。(今後、農地を手放す農家が出てきた場合は、まずは隣接する担い手と協議し、少しずつ集団化を進めていく。)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農業委員会と連携し、貸し手の意向把握を引き続き実施し、認定農業者や認定新規就農者への集積、集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構と連携し、農地所有者への制度説明や情報提供などを積極的に行い、集積・集約化が可能な農地から段階的に進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
一部整備済みであるが、その他地域でまとまった要望がある場合は、必要に応じて土地改良区等と更なる話し合い活動を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
認定新規就農者はもとより兼業農家など自給生産者も含めて農地の維持にあたるよう、担い手育成総合支援協議会や公民館等の地域組織とも連携して担い手の確保・育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
JA鹿児島きもつきなんぐう農業管理センターが農作業受託事業を行っているが利用は少ない。JAと連携し同センターの周知を図るとともに、農作業委託の受け皿となる組織の育成・研究を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①補助事業の活用により、電気柵の導入等を進めつつ、適正な使用を行うことで有害鳥獣侵入被害を防止する。
被害が拡大しないように、目撃情報や被害情報があった場合には、速やかに猟友会等に通報し、対応できる体制を構築する。
- ②行政等関係機関と研修等の機会を創出し、減農薬・減肥料など環境保全型農業の推進を図る。
- ③スマート技術を利用した農薬散布、病害虫の総合防除の推進、土壌・育成データに基づく施肥管理を行い、生産効率の向上や農業従事者への負担減を目指す。
- ④茶の有機栽培面積の増加を図り、海外への輸出における優位性を広げてブランド化を進める。
- ⑤燃料費の高騰による負担を、バイオマス等の導入により軽減する支援を検討する。
- ⑦多面的機能支払交付金等を活用し、農用地、農道及び水路等の施設の適正な保全管理を行う。
- ⑧国等の事業を活用し、農業用施設の有効活用を図る。
- ⑨地域内循環に取組み、飼料や肥料の自給率アップに繋げる。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		茶	8.8 ha	— ha	茶	8.8 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		茶	5.2 ha	— ha	茶	5.2 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		茶	6.1 ha	— ha	茶	6.1 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		飼料作物	ha	— ha	飼料作物	ha	— ha	別紙目標地図	
認農		水稻・露地野菜	2 ha	— ha	水稻・露地野菜	2 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		飼料作物	2.5 ha	— ha	飼料作物	2.5 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		露地野菜	0.4 ha	— ha	露地野菜	0.4 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		露地野菜	0.1 ha	— ha	露地野菜	0.1 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		茶	3.1 ha	— ha	茶	3.1 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		施設野菜・露地野菜	0.1 ha	— ha	施設野菜・露地野菜	0.1 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		飼料作物	0.2 ha	— ha	飼料作物	0.2 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		施設野菜・露地野菜	0.2 ha	— ha	施設野菜・露地野菜	0.2 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		飼料作物	5 ha	— ha	飼料作物	5 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		飼料作物	6 ha	— ha	飼料作物	6 ha	— ha	別紙目標地図	
認農		露地野菜	7.6 ha	— ha	露地野菜	7.6 ha	— ha	別紙目標地図	
認就		飼料作物	0.5 ha	— ha	飼料作物	0.5 ha	— ha	別紙目標地図	
到達者		露地野菜	0.8 ha	— ha	露地野菜	0.8 ha	— ha	別紙目標地図	
到達者		飼料作物・露地野菜	1.5 ha	— ha	飼料作物・露地野菜	1.5 ha	— ha	別紙目標地図	
到達者		花木・露地野菜・茶	0.6 ha	— ha	花木・露地野菜・茶	0.6 ha	— ha	別紙目標地図	

到達者		飼料作物	1 ha	— ha	飼料作物	1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜・茶	3 ha	— ha	露地野菜・茶	3 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.1 ha	— ha	露地野菜	0.1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.1 ha	— ha	露地野菜	0.1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	1.5 ha	— ha	露地野菜	1.5 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		水稻	0.2 ha	— ha	水稻	0.2 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.2 ha	— ha	露地野菜	0.2 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.6 ha	— ha	露地野菜	0.6 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.6 ha	— ha	露地野菜	0.6 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	1.2 ha	— ha	露地野菜	1.2 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	1 ha	— ha	露地野菜	1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		飼料作物	1 ha	— ha	飼料作物	1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.3 ha	— ha	露地野菜	0.3 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.2 ha	— ha	露地野菜	0.2 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.4 ha	— ha	露地野菜	0.4 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		露地野菜	0.1 ha	— ha	露地野菜	0.1 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		水稻	0.3 ha	— ha	水稻	0.3 ha	— ha	別紙目録地図	
利用者		水稻	0.1 ha	— ha	水稻	0.1 ha	— ha	別紙目録地図	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	37経営体		62.6 ha	0 ha		62.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	なんぐう農業管理センター	耕耘・代掻き・田植え・コンバイン 収穫・畔立て・中耕・マルチ・深耕・ 線虫駆除・牧草稲わら梱包・プラソ イラー	水稻・ばれいしょ・人 参

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。